

発 刊 に 寄 せ て

後志教育研修センター

所長 赤 塚 洋 昭

後志教育研修センターでは、調査研究事業も推進していますが、学校教育分野では、「学習指導」に関する研究と「心の教育」に関する研究を進めています。所員がそれぞれの研究委員会に所属し、精力的に研究に取り組んでおります。

学習指導委員会は、平成 16 年度より、3 カ年計画で、研究主題を『基礎・基本を大切にしたい学習展開と評価の工夫』として研究に取り組み、今年度はまとめの年であり、この度、その研究の成果を研究紀要として発刊することとなりました。

主題設定の理由は、本研究紀要に述べられていますが、前回の研究「自ら学び、共に高まり合う学習指導～指導に生きる評価の在り方」の反省として、「基礎・基本の定着」というねらいに対して理論や具体的な実践検証の不十分さや、「評価の在り方」について課題が残ったことがあります。加えて、管内の各学校のアンケートの結果からも同じような課題があることが明らかになったことからです。

ところで、我が国の学校教育においては、国際的な調査結果等から読解力低下や学習意欲や学習習慣の欠如等の課題が明らかになったことから、今後、小・中・高等学校を通じ、基礎・基本をしっかりと身につけさせるとともに、学ぶ意欲や自ら考え主体的に判断する力などの「確かな学力」を育むことが求められております。

本研究委員会は、「確かな学力」を「生きる力」との係わりの中で捉えるとともに、その育成のため、「学び方」に焦点を当て、前回の研究を基盤とし、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせることを大切にしたい学習指導の在り方について研究を進めてきました。

本研究が多くの教職員の指導実践に活かされることを期待するとともに、今後の研究のためにも、どうぞ忌憚のないご批評、ご助言をいただければ幸いです。

終わりにになりましたが、研究の推進にあたり、多忙の中、研究に取り組まれた研究委員の所員の方々、ご指導いただきました後志教育局の指導主事の先生方に心からお礼を申し上げます。また、発刊にあたり、ご支援、ご協力いただきました後志教育局はじめ、関係機関に厚く感謝申し上げます、発刊のあいさついたします。